

北海道地理学会シンポジウム：

「文化遺産としての幕末蝦夷地陣屋・罌郭の景観復原」

日時：平成25年6月30日(日曜) 13:00-16:10

会場：北海学園大学

主催：北海道地理学会、

後援：札幌地理サークル

シンポジウムの概要：

幕末蝦夷地の陣屋・罌郭を対象とし、歴史地理学的・古地図学的な成果を基礎に、文化遺産の保存修景や自然環境からの分析も含め、GIS等の手法を用いて当時の景観を総合的に復原・視覚化した成果を発表する。なお、この発表は科学研究費補助金による共同研究「文化遺産としての幕末蝦夷地陣屋・罌郭の景観復原—GIS・3次元画像ソフトの活用」(研究代表者：戸祭由美夫 奈良女子大学名誉教授)の成果である。

(科研HP <http://ezochi-jinya.jp/index.html>)

シンポジウムのスケジュール

13:00-13:10 戸祭由美夫(奈良女子大)「シンポジウムの趣旨説明」

セッション1 司会 戸祭由美夫(奈良女子大)

13:10-13:35 平井松午(徳島大)

「GISを用いた幕末期における蝦夷地陣屋の3D復原」

13:35-14:00 平川一臣(北海道大)・澤柿教伸(北海道大)・

小松哲也(北海道大・研)*・駒沢 皓(北海道大・院)

「幕末蝦夷地陣屋の立地環境—地形学的検討」

<5分休憩>

セッション2 司会 土平 博(奈良大)

14:05-14:30 木村圭司(北海道大)

「幕末蝦夷地陣屋の立地環境—気候学的検討」

14:30-14:55 財城真寿美(成蹊大)

「幕末蝦夷地陣屋の立地環境—箱館の古気候復元」

<5分休憩>

セッション3 司会 木村圭司(北海道大)

15:00-15:25 増井正哉(奈良女子大)

「幕末蝦夷地陣屋の構造物復原の試みと課題—建築史からの検討」

15:25-15:50 土平 博(奈良大)

「蝦夷地陣屋の構造物と近世陣屋の形態変容」

<5分休憩>

15:55-16:10 質疑・応答 司会 戸祭由美夫(奈良女子大)

(当日、一部変更の可能性あります)